

## 2007年（平成19年）度 第4回常務理事会記録

日時：2007年（平成19年）6月30日（土）14:00~16:00

場所：九州大学東京オフィス（丸の内仲通ビル7階713号室）

出席者：柴田洋三郎（理事長）、牛木辰男、内山安男、岡部繁男、藤本豊士（以上、常務理事、50音順）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、川村知子（以上、口腔保健協会）

### I. 会議記録の確認

2007年（平成19年）度第2回常務理事会記録、同摘録（案）

2007年（平成19年）度第2回理事会記録、同摘録、同議事録（案）

2007年（平成19年）度総会・学術評議員会記録、同摘録、同議事録（案）

2007年（平成19年）度第3回常務理事会記録、同摘録（案）

2007年（平成19年）度第3回理事会記録、同摘録、同議事録（案）

### II. 報告事項

#### 1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

##### （1）会員異動報告（正会員2,142名、平成19年5月31日現在）

平成19年3月分（入会者 正会員2名、学生7名、退会者 正会員10名、学生1名）

平成19年4月分（入会者 正会員2名、学生4名、退会者 正会員2名、学生2名）

平成19年5月分（入会者 正会員2名、学生2名、退会者 正会員3名、学生1名）

逝去会員：崔在權氏（全南大学校医科大学／名誉会員）平成19年5月17日逝去（享年80歳）、松井隆弘氏（東京歯科大学名誉教授／名誉会員）平成19年6月22日逝去（享年96歳）

##### （2）総会・全国学術集会について

来年3月大分大学医学部で開催される第113回総会・全国学術集会について、「おしらせ」を解剖学雑誌に掲載したこと、第115回については岩手医科大学佐藤洋一教授に会頭の委嘱状を発送したことが報告された。

##### （3）日本医学会の評議員・連絡委員等の変更

日本医学会宛に理事長、評議員、連絡委員の変更届等を提出したことが報告された。なお、新評議員は内山理事、連絡委員は岡部理事である。

##### （4）平成19年度支部学術集会の開催日程

各支部の平成19年度の学術集会の開催日程が報告された。

##### （5）文部科学省による実地検査報告

平成 19 年 5 月 15 日に実施された標記実地検査について報告がおこなわれた。指摘事項は 1) 予算、決算を新会計基準に基づいたものにする、2) 総会の委任状は書面評決状にすること、などである。

(6) メーリングリストの作成

理事会、常務理事会はじめ、各種委員会についてメーリングリストを作成したことが報告された。

(7) ホルマリン規制について

以前より厚生労働省労働基準局安全衛生部において検討のおこなわれていたホルマリン等の物質についての「リスク評価検討」に関する報告書の公表が 4 月 6 日付けでおこなわれたことが報告された。その内容については、事業者に対しては局所排気装置あるいはプッシュプル型換気装置の設置、作業環境測定の実施を行うべきで、国はそのための法整備を検討すべきであり、また、年 2 回の健康診断の実施を徹底するよう指導すべきである等である。

(8) 学会宛文書等

①通知・依頼 第 27 回名古屋大学大学院医学系研究科人体解剖トレーニングセミナー委員会より「後援のお願い」他 2 3 箇所 3 3 件の通知、依頼が届いている。なお、以前に大学評価・学位授与機構より依頼のあった「機関別認証評価に係わる専門委員候補者推薦」に関して、その選考結果として「選考は見送った」との通知があった。

②書籍、定期通信他 日本医学会より「日本医学会医学用語辞典英和改訂第 3 版」他 1 0 箇所 1 2 件の書籍、定期通信が届いている。

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及び ASI 刊行報告

両誌の 82 巻 2 号が予定どおり刊行されたことが報告された。

(2) 平成 19 年度科研費補助金の審査結果について

標記補助金に関しては不採択であったことが報告された。

(3) アーカイブについて

JST より電子アーカイブ対象候補誌基礎調査の協力依頼が届いた。解剖学雑誌に関しては既に対象雑誌になっているはずであるが、その進捗状況が不明なので、問い合わせることになった。また、ASI については今年度は応募は見送ることが決定された。

3. 企画・渉外報告（内山企画・渉外担当理事）

(1) 平成 19 年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞候補者の募集

標記の両賞の応募者・候補者の募集要項が報告された。なお奨励賞の応募資格については従来あった曖昧な点を除いたものに改訂されている。

(2) 平成 19 年度技術士資格試験

試験の要項について報告がおこなわれた。

(3) 第 113 回日本解剖学会総会・全国学術集会プログラム委員会報告

標記プログラム委員会の開催結果について報告がおこなわれた。なお、これに関連して、全国学術集会の開催時に託児所を設置するよう要望することが決定された。

(4) 生物科学学会連合連絡会議報告

5月2日に開催された標記の連絡会議について報告がおこなわれた。おもな事項は、代表が浅島 誠氏（日本動物学会）にかわったこと、業務委託先が中西印刷に変更になったこと、2009年の「国際生物学オリンピック 2009」を日本に招致すること、「研究・教育者等のキャリアパスの育成と課題」と題するシンポジウムを実施することなどである。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

(1) 平成 19 年度中間決算報告

資料をもとに報告がおこなわれた。予算との大きな変更箇所は雑収入に中部支部の余剰金が返還されたこと、解剖学用語集の著作権使用料に基づく収入が入ったこと などによる決算額の増加等である。

III. 審議事項

1. 教授就任による学術評議員審査

3名からの申請書をもとに審議がおこなわれ、全件承認された。

2. 教授就任による学術評議員審査について

標記の審査に関して、解剖関係の職についていた人が、学内の研究機関の教授に就任し申請が出される場合がある。選出規約には「医学または歯学の大学等の解剖学教育・研究担当専任教授である正会員」となっているので、今後は本来の解剖学教室（あるいはそれに相当する教室）のある場合には、その教室の教授に事情を説明していただき、それを参考に審議をおこなうとされた。

3. FICAT 国際用語委員について

IFAA の下部組織である FICAT の用語委員については長く高知大学瀬口教授にお願いしてきた。このたび、瀬口教授の定年退職を受けて、それをどうするかの問題が出てきたが、これに関しては継続審議とすることに決まった。

4. 学術集会プログラムへの学術委員会の関与について

来春おこなわれる全国学術集会のプログラム委員会に、学術委員長の八木沼洋行福島県立医大教授が委員として入っているが、今後はこれが学術集会の正式なあり方として継承すべきものであるとされた。

5. 生理学会との合同シンポジウム

生理学会との合同シンポジウムの企画が提案されているが、解剖学会はさまざまな分

野の人を含んでおり、学会全体の企画として進めるには時機尚早であるとされた。

#### 6. 2008 AAA Annual Meeting への演者派遣

アメリカ解剖学会より 2008 年度 AAA Meeting への演者派遣を要請してきた。シンポジウムのテーマ等を考慮し人選した結果、東京大学岡部繁男教授、慶応大学仲嶋一範教授を派遣することになった。

#### 7. Anatomische Gesellschaft (AG) との交流

Anatomische Gesellschaft (AG) より交流を組織的に進めたいとの連絡が入った。AG はサイエンスのレベルも十分に高く、また解剖学に対する考え方も日本解剖学会に類似しているため、今後交流を進めるとの結論に至った。

#### 8. 会員名簿発行

前回作成時の資料等が提示され、岡部庶務理事を委員長とする会員名簿作成委員会の設置が承認された。

#### 9. ASI 編集委員会規約 (案)

ASI の編集委員会規約 (案) が提示され、一部変更のうえ、承認された。

#### 10. 会計処理規約 (案)

文部科学省による実地検査の際の、現行の会計処理規則が簡単すぎるとの指摘を受けて、改訂案が提出された。審議の結果、次回の理事会に上程することが承認された。

#### 11. 平成 19 年度補正予算 (案)

標記補正予算 (案) が提案され、承認された。

#### 12. 非学会員 (マスコミ) からの問い合わせについて

解剖学会では非学会員からの問い合わせに関してはマスコミや団体からの場合に限って、対処することになっている。この度、NHK より問い合わせがあったが、質問に回答できる適当な専門家が見つからなかったため、その旨を返事した。

#### 13. その他

新鮮凍結標本の解剖に関して出席者の間で意見交換がおこなわれた。

#### 14. 理事会・常務理事会の日程について

次回 常務理事会は 9 月 8 日 10:00～ 東京大学で、また 12 月 15 日は午前中から常務理事会を、14:00～16:00 に理事会を八重洲倶楽部において実施することが決定された。